

Vine

教育人間科学部
附属教育実践
総合センター

—教員養成を支援するとりくみ—

[人物発掘]

柳田藤寿 教授

大学院医学工学総合研究部
生命環境学域生命環境学系
(地域食物科学・ワイン科学研究センター)

[ぴっくあっぷレッスン]

医学部医学科 データサイエンス

[ゼミ紹介]

医学部看護学科

健康・生活支援看護学講座

サークル紹介/クローズアップぴーぶる/キャンパス内外情報





教育人間科学部附属 教育実践総合センター

—教員養成を支援するとりくみ—

附属教育実践総合センターは、教育の最前線を担う研究施設です。
その扉は、現職の教員、教員を目指す学生、
今教育を受けている生徒・児童、保護者の皆さんに開かれています。



はじめに

附属教育実践総合センター 鳥海順子

附属教育実践総合センターは、幼稚園や小学校など4つの附属学校園を含む山梨大学教育人間科学部附属施設のひとつです。平成元年6月に附属教育実践研究指導センターとして産声をあげてから四半世紀の歴史をもつ本センターは、地域に開かれ、大学内外の教育機関や教育関係者と学部とを結ぶ役割を果たしてきました。教育の今日的課題を明らかにし、解決に向けて研究や情報発信、研修会、教育相談などを実施しています。これらの成果は学外だけでなく、これから教員を目指す学部学生にも還元され、学生たちの力量アップにつながっています。例えば、教育ボランティアは、学生にとって学習や部活の指導、放課後の支援、メンタルフレンドなど幅広い学びの機会となっています。学校の教室が再現された模擬授業室は、電子黒板やタブレット端末などの最新の設備も使いながら、学生が自由に授業研究を行うことができます。

教職支援室

教職支援室は、教員を目指す学生の皆さんを支援するために、昨年度(平成24年度)から開設されました。教職支援と教育ボランティアを主な活動としていますが、ここでは、教職支援の概要を説明します。

①個別面談

学校教育課程の1から3年次の学生全員を対象に個別面談を行い、生活の様子や将来の希望等について話をします。

②教員採用試験対策基礎講座・実力養成講座

教職希望の3年次生を対象に、基礎講座では教職教養、論作文、面接の基本的なことを学び、実力養成講座では演習を中心とした内容となっています。

③教員採用二次試験対策講座

各自治体の二次試験の直前対策として個別面接や集団討議、模擬授業の練習を行います。

その他、面接や論作文などの個別指導を行っています。大勢の皆さんが教職支援室を活用し、自分の希望する道に進めることを願っています。



二次試験対策講座(面接)



二次試験対策講座(集団討議)

学生の声

幼児教育コース4年
小宮山万里さん

教職支援室には、3年次の2月に行われた実力養成講座からお世話になりました。支援室の先生方には、主に個人面

接、論作文の指導をしていただきました。何回も練習や添削をしてもらい、少しずつですが自分なりの表現ができるようになりました。また、講座をきっかけに参加した人たちとグループを作り、自主的に集団討議の練習をしました。その際にも支援室の先生方に来ていただきました。討議をしている様子をビデオに録画し、それを基に発言内容や態度等について指導を受け大変参考になりました。個人面接や集団討議、論作文は早くから対策することが大事ですが、対策講座に出て先生方から指導してもらったことや、仲間と一緒にできたことは心強く励みになりました。



教育ボランティア

平成25年度教育ボランティア活動には、のべ180名を超える学生が参加しています。活動内容は小中学校での学習支援、中学生の自学講座への学生チューター、山梨大学内にある子ども図書室の運営、「教育ファーム」他、多岐にわたっています。

学生にとって実際の教育現場で活動することは、教育の使命を学び、子どもと関わる楽しさを味わい、教師になるための力量を養う貴重な機会となっています。また受け入れ先の教育機関にとっても、習熟度別や小グループ

指導、個別指導など指導形態の多様化が図れることから要請も年々増加しています。そして、何よりも子どもたちが学生の訪問を心待ちにしていることに活動の大きな意義を感じます。

学生の声

社会科教育専修3年
笹本 愛さん

私が教育ボランティアの活動を始めたのは、教師を目指しており教育現場の経験が役に立つのではないかと考えたからです。活動内容は、授業中の児童をサポートすることです。回数を重ねるうちに、ただ問題の解き方を解説するのではなく児童の考え方に応じて視覚的に示したり、言葉で説明したりすることが必要だということ学びました。今では「笹本先生の説明分かりやすい」と子どもが言ってくれるようになりました。

また、私は、教育ボランティア学生運営委員会で3年間活動しています。ガイダンスや交流会・報告会などを企画・運営します。大勢の人が集まる会を運営するには大変なこともあります。楽しさや充実感も得られます。この教育ボランティアでの経験を生かし、教師になるための力量をしっかり身に付けていきたいです。



研究授業の模擬授業の様子



教材作成をする学生

模擬授業室(N31)

本室には、iPadや電子黒板など最新のICT機器が置かれ、機器の使用もできます。また、模造紙や画用紙が自由に使えるため、教育実習中は教材作成や、研究授業の場として使われ、学部3年生の教育実習事後調査では7割の学生の利活用がありました。学校現場にある教室環境に極めて近い機能をもつ多目的室で、教育実習はもとより大学の授業での活用も期待されています。

授業臨床演習室A(N515)

本室には、ビデオ映像をつかって授業分析ができる機器が備えられています。授業について意見交換するための資料を用意できるよう、WindowsPCでビデオ編集やプレゼンテーションスライドを作ることができます。また、電子黒板やタブレット端末iPadもありますので、教職必修科目「授業分析論」に限らず、教材研究や教科教育の授業等でも利用されます。一般利用は、平成26年4月からとなります。



開所式の様子

発掘人物

柳田藤寿教授

大学院医学工学総合研究部生命環境学域 生命環境学系（地域食物科学・ワイン科学研究センター）
生命環境学部地域食物科学科／医学工学総合教育部生命工学専攻／医学工学総合教育部環境社会創生工学専攻

2000年、世界で初めて海水から発見した“海洋酵母”を使ったワイン醸造を世に送り出して以来、企業とのタイアップで次々とヒット商品を世に送り出してきた柳田藤寿先生。最近では、パッケージに自らのイラストを描いたDr.ヤナギダブランドの開発を始め、ワインコンクールの審査員長や、「ワイン」「食」などをテーマとした著作の上梓など、今日も学内外で精力的な活動を行っています。

将来の夢は、算数の先生か、食品の開発者。

僕の父（柳田藤治・東京農大名譽教授）は、宮崎県の造り酒屋息子で、家業を継ぐために東京農大の醸造科へ進んだのに、大学での勉強がおもしろくなって、そのまま大学に残って研究を続けたという経歴の持ち主。自分が開発した食品を持ち帰って、家族に食べさせてくれることもよくありました。そんな環境で育ったため、小さな頃から「食」に敏感で、興味もありましたね。

小学校の卒業文集を見ると、将来の夢は、算数の先生か、食品会社の新商品開発者になりたいと書いています。大学の“先生”になって、“食品の開発”もしているから、夢を叶えたと言えるかな。

内向的だった子ども時代、社交性やリーダーシップは、大学時代に培われた。

性格的には、とても大人しい子どもでした。例えば、授業中先生が、「わかった人？」と聞いて、子ども達が「はい」と手を挙げるシーン、僕は、解っていても手を挙げない子だった。通知表にはよく「内向的な性格」と書いてありましたね。今の僕からは想像できないかもしれないけれど（笑）。

大学は東京農大の農芸化学科へ進みました。当初は食品の開発を志していたのですが、微生物、とりわけ乳酸菌の分類のおもしろさに目覚め、そちらに進むことに。内向的な性格は、大学へ進んでもしばらくは変わりませんでした。研究チームのヘッドになったことで一変。以来、仕切ったり、まとめたりということをするようになって、今に至っています。

乳酸菌のスペシャリストとして、マロラクティック発酵に挑戦する山梨大学へ赴任

赤ワインに乳酸菌を生育して、赤ワインに含まれるリンゴ酸を乳酸に変えるマロラクティック発酵という醸造法があります。日本ではあまりやられていませんが、ワインをとてまろやかにしてくれる醸造法なんですね。

今から23年前、山梨大学の発酵化学研究施設（現ワイン科学研究センター）でこのマロラクティック発酵に挑戦しようということになったのですが、当時の発酵化学研究施設には、乳酸菌の扱いに慣れた研究者がいなかった。それで、当時、施設長だった後藤昭二先生（山梨大学名誉教授・専門は発酵微生物学）と、僕の御師が懇意にしていた僕にお声がかかったというわけです。

東京生まれ、東京育ちの僕ですが、そろそろこちらでの年月の方が長くなってきました。

自然界から微生物を見つけるおもしろさ

僕の主な研究は、①自然界から酵母や乳酸菌を探す研究と、②それを使ったワイン、あるいは他の商品の開発です。

ところで、酵母とは、微生物の一種で、糖をアルコールと炭酸ガスに分解する働き(=発酵)を持つことから、古くから、ビールや日本酒といったアルコール飲料、味噌、醤油、パンなど、様々な食品を作る際に活用されてきました。一言で酵母と言っても、その種類は数百に及びます。通常は、果物や穀物、花の蜜など、エサとなる糖のある場所に居ることが多いのですが、他にも、実にいろんな場所、例えば極端な例を挙げるならこの空気中にも、微量ながら存在しているんですね。そうした酵母を探して、ワインに向くかどうかを調べるのが僕の研究テーマのひとつ。みんなと同じではおもしろくないので、例えば、湖とか、河川とか、土壌とか、他の人が考えないような場所でもトライしています。もちろん、捜せば

新しい酵母を探し、オリジナリティのあるワインを作ることで、国産ワインの需要拡大、ひいては、日本におけるワイン文化の醸成に寄与できればと考えています。

地元企業と共同開発した、 Dr.ヤナギダブランドの ヨーグルトドリンク

企業との共同開発にもいろいろと取り組んでいます。最近のヒット作としては、僕が発見した植物性乳酸菌とワイン酵母を使い、地元のメーカーとタイアップして作った「大豆で作った飲むヨーグルト」。豆乳は脂肪分が少なくヘルシーですし、牛乳アレルギーのお子さんにとっても牛乳に代わる重要な栄養源なのですが、独特の大豆臭があるた



人物発掘◎柳田藤寿教授

誰しも、好きなことには夢中になれる。
時間に関係なく打ち込める。
だから、結果もついてくる。
好きな道を、目標を持って進んで行こう。



すぐに見つかるわけでもなければ、見つけた酵母すべてがワインに向くとも限らない。難しいことも多々あるわけですが、それだけに見つかったときの喜びも大きくなります。最近の成果としては、富士五湖に次ぐ6番目の湖、何らかの影響で数年に一度現れることから「幻の湖」とも呼ばれる「赤池」で見つけた酵母。この酵母を使って発酵した新たなワイン「富士六湖」が、この春リリースされます。

ぶどうが命と言われるワイン作りですが、実際には、ぶどうが7割、発酵が3割。どんなに素晴らしいぶどうが収穫できても、発酵がダメだと、良いワインは作れません。我々が関わるのはこの3割の部分ということになるので、

め、苦手な方が多いという課題もあります。そこで、飲みやすくするために、漬け物から採取した植物系乳酸菌を使ってヨーグルトにするとともに、発酵時に発生する大豆臭を極力軽減するためにワイン酵母で香りをマスクしたところ、今まで苦手だったという方からも、「美味しい!」と喜びの声が寄せられるようになりました。小さなお子さんからお年寄りまで幅広い年代の方に喜んでもらえて、ワインとはまた違った手ごたえや喜びを感じています。

食品ですから美味しいのはもちろん大切なのですが、それだけにとどまらない、機能的な付加価値を持つ商品の開発にも取り組んでいます。その一例が「健康に良い」というキーワード。例えば、従来酸に弱いとされてきた乳酸菌ですが、胃液(酸性)に耐え、生きたまま腸に届く乳酸菌を探して、実験をしているところです。

微生物の発見は、人々の日々の生活にとっても近い部分で活用されています。自分が発見した微生物が、いろんな人に喜んでもらえる商品になるのは、とても興味深くやりがいもある仕事です。どんな商品が発表されるか、今後の動向にも、ぜひ、期待して下さい。



Fujitoshi YANAGIDA

【略歴】

- 学位 農学博士(東京農業大学)
- 1983年3月 東京農業大学 農学部 卒業
- 1988年3月 東京農業大学大学院 農学研究科 博士課程修了
- 1988年4月 日本学術振興会特別研究員(理化学研究所に勤務)
- 1990年3月 山梨大学工学部助手(附属発酵化学研究施設)
- 1995年4月 山梨大学工学部講師(附属発酵化学研究施設)
- 1997年4月 山梨大学工学部助教授(附属発酵化学研究施設)
- 2000年4月 山梨大学工学部助教授(附属ワイン科学研究センター)
- 2008年2月 山梨大学教授(附属ワイン科学研究センター)

【専門分野】

微生物分類学/ワイン醸造

【研究テーマ】

ワイン微生物の研究(Study on Wine Microbiology)
微生物の分類学(Taxonomy of Microorganisms)



データサイエンスの講義を担当されている西郷准教授

【担当教員】

西郷達彦 准教授

【到達目標】

データサイエンス1では基本的な確率から始め、得られたデータを整理する記述統計の方法と、その二つを組み合わせ一部データから全体を推測する推測統計学の基本を学びます。

データサイエンス2ではデータサイエンス1での基礎をもとにより進んだ手法や正規母集団以外の解析方法など実際の医学研究で多用される手法を学びます。

医学部医学科 データサイエンス

【授業の概要】

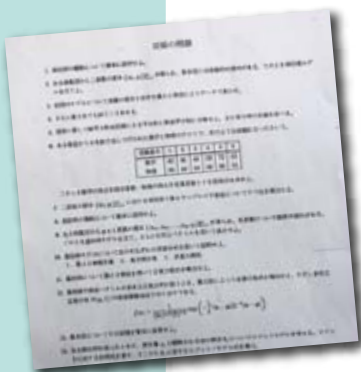
この授業は医学科1年後期から医学科2年前期の1年にわたって行われる授業で、1年後期ではデータサイエンス1が、2年前期ではデータサイエンス2が開講されます。

データサイエンス1では、主に確率、記述統計、推測統計について学びます。実際の実験や観察などで得られたデータを図表やグラフにまとめて整理する手法である記述統計を理解した上で、確率を軸にして様々な分布について理解し、確率や平均、分散など数学的な概念を用いつつ思考力を養います。そして、一部のデータをもとにそのデータ全体の特徴を推測するといった推測統計の分野では仮説検定などの手法が扱えるようになることを目指します。

データサイエンス2では、データサイエンス1で学んだ解析方法以外の様々な応用的手法について学びます。例えば、回帰分析や分散分析など正規母集団への応用的手法の基礎や、判別分析や主成分分析など個々のサンプルに複数のデータ値が得られる場合の解析手法などがあります。さらにクロス表を用いた解析法や強い分布の仮説を設けずに推測するノンパラメトリクスという解析法についても紹介されます。その他にも、Rというパソコンのソフトで簡単なデータの解析や整理をする実習もあり、ゲノム統計の手法など、多岐にわたる統計学の分野に触れることができる授業になっています。

医学を含む諸科学においては、新たな事実を知るため研究で得られた結果をもとにデータを分析し、他人の研究結果を読み解く必要があります。ここで何かしらの事実を述べる際には、実際に実験や観察や記録をおこなった一部の対象の事実から、一般化する必要があると考えられます。しかしここには論理の飛躍が伴い、これを保証するための方法論が必要であり、その方法論が統計学で、この科目で方法論の基礎を学びます。将来さまざまな医学の研究に進んだ時に、そういった手法を扱うことができ、そこで研究を行い論文に著す際はもちろん、他人の研究成果を読み解く際にも統計学の知識と考え方が必要となります。そういう点で、将来医師を目指す私たち医学生にとっては可能性を膨らませることにつながる授業だと考えられます。

(医学部医学科2年 元山隆太)



後半のデータサイエンスでは、回帰を用いた手法について学びます



実際に統計ソフトを使用してのデータの解析の実習も行います

（ 幸福な生活を
送ることができるように ）

看護職の仕事の対象となるのは病気の人だけではありません。健康な人がこれからも健康でいられるように、さらにはもっと健康になるように働きかけることも看護職の重要な仕事です。そのためには、心身の健康のことだけでなく、人との関係や、衣食住、仕事、教育、余暇の過ごし方など幅広い観点からの支援が必要になります。また、看護職の活動の場も病院の中だけではなく、私たちが生活を営む家庭、地域、職場、学校などさまざまな場所での活躍が期待されています。

健康・生活支援看護学講座は、病気のあるなしにかかわらず、幅広く地域で生活する人を看護の対象ととらえ、健康を維持・増進できるよう、生活を支援するために必要とさ

れる看護についての研究を行い、さまざまなフィールドで活躍できる看護師・保健師の養成を担当しています。

（ 4つの領域 ）

健康・生活支援看護学講座は、精神看護学、高齢者・在宅看護学、保健学、地域看護学の4つの専門領域で研究・教育を行っています。専門は異なっても共通しているのは、その人の病気のことだけを考えるのではなく、その人が質の高い生活を送ることができるようにするためには何が必要なのか、各領域で連携し、さらには他のさまざまな専門家の協力を得て、広い視野で考えていくという点です。

日本の国は豊かになり、医療も進歩し、多くの人が長生きできるようになりました。しかし、平均寿命の延びに比例して私たちは幸せ

になったのでしょうか。長く生きるようになったために健康を脅かす新たな問題が出現しています。また、年をとれば若い頃と同じように何かをすることは難しくなってきます。さらに、家庭、地域、職場、学校と私たちの生活の場も変化してきています。今の幸せな生き方が、未来の幸せな生き方につながらない可能性があります。私たちがこれから幸せに、健康に、生活していくためにはどうしたらいいのか考えるためには、一つの専門分野だけでなく、さらには医学・看護学の領域にとどまらず広い視点からの検討が必要です。そして生活について理解するためには、いろいろな価値観を知る必要があります。

健康・生活支援看護学講座では、教員だけでなく、多くの学部、大学院の学生さんたちと一緒にこれらの問題の核心に迫っていきたくて考えています。



健康・生活支援看護学講座の教員



公式テニス部 硬式テニス部



創立70年を超える由緒ある部活 Tennis club

こんにちは!山梨大学公式テニス部の硬式テニス部です。硬式テニス部は山梨大学のテニスコートを借りて平日は15時から18時まで、土曜は9時から15時まで活動しています。もちろん、部員なら時間問わずいつでもテニスコートが使用できます! みなさんにこの硬式テニス部についてたくさん知ってもらいたいので、詳しく紹介したいと思います。まず、硬式テニス部は創立して70年を超える由緒ある部活です。

近年、硬式テニス部は人が少なくて盛り上がりになんて少しかけていました。しかし、最近では1、2年生がたくさん入り、今では40人を超えるメンバーがこのサークルに所属しています。みんなで楽しく活動しています!!



硬式テニス部は経験者だけでなく初心者もたくさんいます。初心者の方や女の子でもみんなで楽しく練習できます。だから硬式

テニス部はテニスやりたい人なら誰でも大歓迎です!! 活動内容はサーブやボレーなど基礎練習や部内での紅白戦などを行います。テニスコートもたくさんあるので1年生は玉拾い、なんてこともなく、みんなで楽しく活動ができます。また、他の大学と交流試合をしたり大会に出場したりすることもできます。テニスの大会は



誰でも大歓迎なので
ぜひ一度テニスコートに
遊びに来てください!
待ってますー!!



シングルス・ダブルスの両方で登録できるので試合に出られないなんてこともありません。



そして部活が終わったあとにはみんなでご飯を食べに行ったりしています! 部活が終わってお腹がへっているときのご飯はとておいしいですね! みんなでご飯を食べながら大学の話とか世間話とか、先輩後輩関係なく話をしたりして楽しんでいます。テニスだけでなくこのような交流が盛んにあるのが硬式テニス部の魅力です。また、夏休みに山中湖へ行き合宿を行ったり、文化祭で広島風お好み焼きの屋台を出したりしており、テニス以外にもいろいろイベントに尽きない部活でもあります!

私たち硬式テニス部はテニスの経験の有無は問いません。テニスが好きな方だけでなく、運動が好きの方、あるいはあんまり運動は得意じゃないけど運動をしたいという方、少しでも興味を持たれた方は一度硬式テニス部に参加してみませんか?きっと硬式テニス部の楽しさが分かります。この先輩たちが築き上げた硬式テニス部という素晴らしい部活をますます発展させて、よりよい部活にしていけたらいいと思います。



医学部 写真部



写真撮影を楽しみ、愛する Photography club

こんにちは、山梨大学医学部写真部です。

突然ですがみなさま、写真は撮られていますか?今や、家電量販店に足を運べば、デザインも非常にカッコよく、また、高性能なカメラの数々が所狭しと並べられ、ご自慢の愛機をお持ちの方も多いため、そうでなくとも、あなたが今お持ちの携帯電話には、コンパクトで高画質なカメラが内蔵され、各種SNSへの投稿をはじめとして、より気軽に写真を楽しむことが出来ると思います。そんな写真撮影を愛する者たちが一堂に会したのが、我々写真部であります。

大学に数ある部と比較すると決して大きな部ではありませんが、各員がそれぞれの持つ愛機にキャラクター付けられた個性的なメンバーが揃い、作品や撮影技術の共有の場として、参加者を募る形で随所に撮影に向かったり、食事をしたりと、キャンパスライフにおいて非常に楽しみのある活動をしています。また、昨年の春には部のブログを立ち上げ、各部員の作品の共有とともに交流がなされています。

部にとって、年内で最も大きな行事といえば、医学祭における写真部のブースでの作品展でありましょう。2日間開催される作品展では、部

フアインダーから目を離し、
目の前の光景に
ふと一息ついた時、
あなたの横に僕たちが
いられたらいいと思います。



員たちが彼らの委ねるレンズ越しに見た、海外旅行の景色、荒ぶる日本海、知的なポートレート、重厚な戦艦や鉄道の写真、愛くるしい動物の写真と、彩色よく、文字通り多種多様な作品が展示され、御用命下されば作品をポストカードにして用意することもできます。複数の写真を組み合わせることでひとつの作品を作り上げる、「組み写真」の作品も多々展示させていただいております。ぜひ次の機会にはお越しくださいませ。

また、院内食堂のある通りの壁に、我々写真部の部員が撮影した作品の一部を展示しており、非常に好評を得ています。こちらも、定期的に新しいものへと交換していますので、是非ご覧くださいませ。

そして、紙面を介して出会うことのできたあなたへ、是非我々写真部の仲間として、あなたのお持ちのカメラとともに一緒に活動しましょう。そのカメラのレンズの見る世界と、あなたの見る世界が一致したとき、きっとそこには素晴らしい作品が生まれることでしょう。



close-up people

◎大学院医学工学総合教育部持続社会形成専攻 **鈴木 秀**さん

簡単に自己紹介をお願いします

鈴木秀、23才、独身、好きなタイプは知的で家庭的で美しくスタイルの良い女性です(笑)。趣味は色々あるんですけど、自転車に乗ることですかね〜。夏休みには自転車で1000キロの旅をしました。

経歴は高校を卒業後、サンテクノカレッジという専門学校で4年間ソフトウェアやネットワーク技術を学びました。現在は山梨大学大学院医学工学総合教育部持続社会形成専攻に所属し、「ITと社会の共存」をテーマに研究を進めています。学業の傍らですが、2004年にネット販売会社Lilvを立ち上げ、現在そちらの代表を務めています。

大学生活はどうでしょう?

「楽しい」の一言に尽きます!!!
自分の興味のあることを、自由な観点から研究を進められるというのが魅力的です。やっぱり、型にはまって世間と同じことをしているだけではつまらないですから…
あとは僕の大学生活に欠かせないのが友人の存在ですね。一緒に食事に行ったり、飲みに行ったりと、学業と仕事の間の友人と過ごす楽しいひと時を、最も重要な時間と位置づけています。

学生で起業した理由



当時14才の私は学校教育とは、将来雇われるための教育であるという考えを強く持っていました。このまま流れに身を任せ、高校、大学と進学



し、ごく平凡に生きていくのかと思うと嫌気がさしました。そんな時思ったのが、自らアクションを起こし、学校教育から外れて独学で専門的に何かをやってやろうということでした。いざ何をやるかとなった時、当時はインターネットの普及率の上昇が非常に著しかったこと、そして自分自身もこの分野に興味があったということから、そのフィールドでモノの売買を行えば確実に成功できるという確信のもと、インターネット通販を開業しました。

どんな会社??

主に大手ECモールに出店しています。小売を行っているのでBtoCがメインですが、企業にも卸すことがあるのでBtoBの形態も取っています。他にも従業員には優秀なデザイナーが在籍しているので、Web構築などの相談も業務内容として含まれます。

起業して思うことは?

これまでを振り返ってみれば、良かったこと悪かったこと数え切れないほどありました。従業員とがむしゃらになって働いて、売上目標を達成したときの充実感は今で



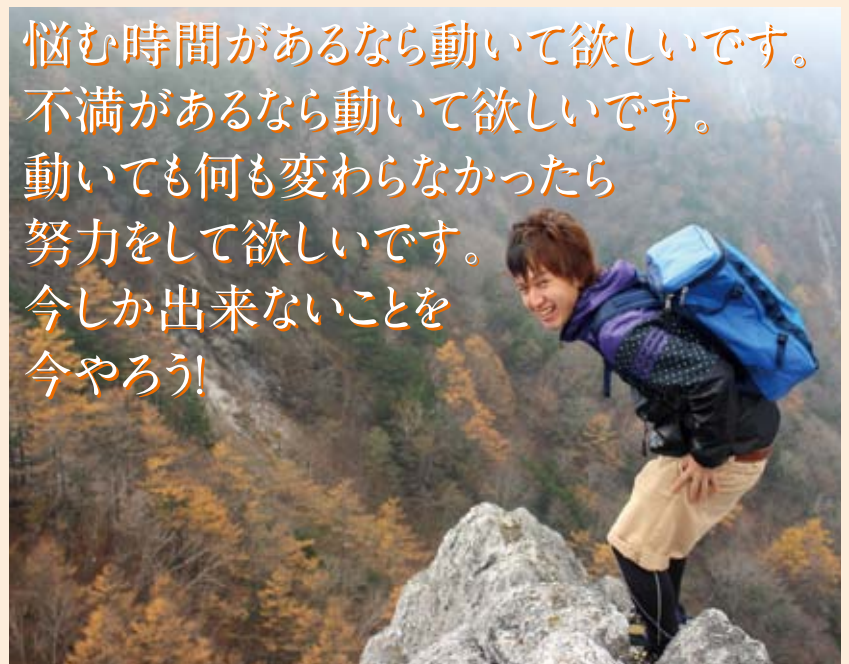
鈴木 秀の略歴

1990年 山梨県甲斐市竜王に生まれる。
2004年 ネット販売会社Lilv設立
2009年 山梨県立昭和高等学校卒業
2013年 サンテクノカレッジ卒業
現在 山梨大学大学院医学工学総合教育部持続社会形成専攻

も忘れられません。しかしながら、自分の会社を大きくすることに夢中になりすぎて他に目を配るということを忘れがちになっていました。起業して10年、今年は節目の年だと思っています。この度、この節目の年に、自社を売却及び譲渡し、若い頃の考えには反していますが、自らの身を一般企業に置くことで社会を学び視野を広げ、自分をより高めていく決意をしました。10年間たくさんの苦労を経験してきましたが、この経験は私の生きる糧となり、今後の人生に上手く作用してくれると思っています。

最後に一言!!

悩む時間があるなら動いて欲しいです。
不満があるなら動いて欲しいです。
動いても何も変わらなかったら努力をして欲しいです。
今しか出来ないことを今やろう!



KOFU CAMPUS

就職活動、 インターシップなど 学生の要望に 親身になって対応

今回紹介するのは、学生が進路を決定する際にもっともお世話になるキャリアセンターです。キャリアセンターは山梨大学甲府キャンパスにあり、学生のインターンシップの手助けや就職活動生の手助け、アルバイトの情報を掲示したりしています。また、パソコンルームがあり、パソコンを学生に開放して学生が自由に使用できるようにしています。

キャリアセンターには常に指導員の先生が常駐しており、学生の要



併設のPCルームでは、企業情報やインターンシップの情報が検索できます。



甲府

先輩達の就職活動レポートや、インターンシップのレポート・留學生就職資料などが常時閲覧できます。

望に対して親切に答えてくれます。たとえばインターンシップに参加したい場合や就職活動で悩んでいるときに適切なアドバイスをいただけます。

また、ワークライフバランスを念頭に置いた活動も行っており、円滑な職業生活や仕事と私生活の両立、職場・家庭・地域での役割が果たしていけるよう支援しています。そのため、全学共通教育科目（キャリア形成科目）で、低年次から学生個々の「気づき」を目標にキャリア教育も展開していきます。

就職活動に興味がある方やインターンシップに興味がある方、アルバイトを探している方はキャリアセンターに是非立ち寄ってみてはいかがでしょうか？
(生命環境学部地域食物科学科2年 川田佑輔)

山梨大学キャリアセンター

山梨県甲府市武田4-4-37
[電話] 055-220-8319
[FAX] 055-220-8782
[E-mail] career-tr@yamanashi.ac.jp
[開室時間] 8:30~17:15(月曜~金曜)

FACULTY OF MEDICINE CAMPUS

医学部

テラス席もある 医学部の学生 行きつけのお店

今回紹介するスターバックスは、山梨大学医学部附属病院の構内にあります。そのため、病院に訪れる方や、病院のスタッフさんが多く利用しています。お店の目の前にはバス停があるので、バスの待ち時間などちょっとした空



スターバックスコーヒー 山梨大学医学部附属病院店

山梨県中央市下河東1110
山梨大学医学部附属病院
[電話] 055-278-5877
[営業時間] 7:00~20:00
[定休日] 不定休



き時間にも利用できます。また、医学部の講義棟からも近く、医学部の学生の行きつけにもなっているお店です。

店内は落ち着いた雰囲気、ゆったりとした時間を過ごせます。季節によって変わるドリンクやフードメニューは、どれも心惹かれるものばかり。メニューはコーヒーだけではなく、デザート系の甘いドリンクも充実しているので、コーヒーが苦手な方でも大丈夫です。サンドイッチやケーキもあるので、御飯の時間にもおやつの時間にも良いですね。また、ドリンクにはシロップやホイップを追加するなど様々なトッピングが出来ます。お好みのトッピングでドリンクのカスタマイズが出来るのもスタバの魅力の1つです。

テラス席もあるので、天気の良い日には外で楽しむこともできます。附属病院に立ち寄った際などには、1度足を運んでみてはいかがでしょうか。
(医学部看護学科2年 佐藤真優)

ハラール推奨メニューの提供を開始

山梨大学では、山梨大学生生活協同組合と共同し、平成25年12月から学生食堂においてイスラム教徒の外国人留学生に向けたハラール推奨メニュー^{*}の提供を開始しました。

ハラール食は、イスラム法上で食べることが許されたイスラム教徒向けの料理のことで、ハラール認証を受けた食材を使用することやその調理法等についての定めがあります。



ハラール推奨メニューを食べる留学生
(画像は一部加工しております。)

ハラール食については、これまでもイスラム教徒の外国人留学生たちから大学構内での提供について要望が寄せられていましたが、その要望に少しでも応えられるよう、このたび山梨大学生生活協同組合の協力によりハラール推奨メニューを取り入れることにしました。

これにより、イスラム教徒の外国人留学生における食生活の利便性を上げるとともに、今後日本に留学しようとする海外の学生にもアピールしたいと考えています。

平成25年11月27日(水)に開催された留学生懇談会では、ハラール推奨メニューの試食も行われ、留学生たちからは「とてもおいしい」との感想とともに、ハラール推奨メニューへの期待の高まりが感じられました。

※ハラール推奨メニューとは、厳格なハラール食ではないものの、日本ハラール協会と本学の外国人留学生の了承を得た食事です。

平成26年度学年暦 (年間予定表)

事項	期日等
前期開始	4月1日(火)
ガイダンス等	4月1日(火)～4月11日(金)
入学式	4月8日(火)
前期授業開始	4月14日(月)
授業振替日	4月30日(水) 火曜日の振替日
授業振替日	5月8日(木) 月曜日の振替日
前期授業終了	7月31日(木)
夏季休業	8月1日(金)～9月23日(火) 各学部で定める
秋季卒業式・修了式	9月25日(木)
前期終了	9月30日(火)
後期開始	10月1日(水)
開学記念日	10月1日(水)
秋季入学式(大学院)	10月1日(水)

事項	期日等
後期授業開始	10月2日(木)
授業振替日	10月15日(水) 月曜日の振替日
大学祭(医学部キャンパス)	10月24日(金)～10月26日(日)
大学祭(甲府キャンパス)	10月31日(金)～11月2日(日)
授業振替日	11月27日(木) 月曜日の振替日
冬季休業	12月20日(土)～1月6日(火) 各学部で定める
授業振替日	1月8日(木) 月曜日の振替日
後期授業終了	2月9日(月)
春季休業	2月10日(火)～3月31日(火) 各学部で定める
卒業式・修了式	3月18日(水)
後期終了	3月31日(火)

(注) 1. 授業振替日とは、授業回数不足している曜日について、当該不足曜日の授業を振替えて行うものです。
2. 1月16日(金)は、大学入試センター試験準備のため休講とします。

編集後記

『山梨大学広報誌Vine』第22号をお届けします。本誌の編集は、教職員と学生とからなる山梨大学広報誌専門委員会が行っています。各委員は毎号、山梨大学の「今」を発信するため、広い視野をもって素材を発掘し、また紙面の工夫につとめています。今号では教育人間科学部における教員養成のための新たな取り組みなどについて取り上げました。第22号をお手にしてのご感想はいかがでしょうか。本誌に関するご意見を右記の山梨大学総務部総務・広報課広報グループへお寄せください。

今年度も多くの学生諸君が本学を巣立っていく時期を迎えました。卒業・修了する皆さん、それぞれの道での健闘・活躍を心より祈っています。『山梨大学広報誌Vine』は本学のホームページにも掲載しますので、日本や世界の各地でページをめくり母校を応援してください。

広報誌専門委員会委員長 服部一秀

表紙作品の紹介



タイトル「木蓮」

福田美香

大学院教育学研究科修士課程
芸術文化コース 2年

山梨大学広報「ヴァイン」 March 2014 vol.22

発行者:山梨大学広報誌専門委員会

[本誌に関するご意見・お問い合わせ先]

山梨大学総務部総務・広報課広報グループ

TEL:055-220-8006 FAX:055-220-8024

E-Mail:koho@yamanashi.ac.jp

山梨大学ホームページ

<http://www.yamanashi.ac.jp/>



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。